

佐世保工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	国際関係論
科目基礎情報					
科目番号	0083		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	電子制御工学科		対象学年	4	
開設期	前期		週時間数	前期:2	
教科書/教材	ライブ! 2022 公共、現代社会を考える (帝国書院)				
担当教員	滝 知則				
到達目標					
到達目標1 国際関係のしくみと国内政治のしくみがどう異なるかを、理解する。(B-1)					
到達目標2 国際関係の主要アクターと主な課題を、理解する。(B-1)					
到達目標3 各国が国際関係の課題にどのように取り組んできたかを、理解する。(B-1)					
到達目標4 21世紀前半の国際関係についての課題を、理解する。(B-1)					
到達目標5 自分が今後注目していく国際関係の課題を、見つける。(B-1)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 到達目標1	到達目標1を達成できている	到達目標1をある程度達成できている	到達目標1を達成できていない		
評価項目2 到達目標2,3,4	到達目標2,3,4を達成できている	到達目標2,3,4をある程度達成できている	到達目標2,3,4を達成できていない		
評価項目3 到達目標5	到達目標5を達成できている	到達目標5をある程度達成できている	到達目標5を達成できていない		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 B-1 JABEE a					
教育方法等					
概要	①利益実現に向けた過程における、国内政治と国際関係の性質の違いを理解する。 ②国際関係の主な課題を理解する。 ③各国が、国際関係の課題にどのように取り組むかを理解する。				
授業の進め方・方法	講義 (一部、ビデオ視聴を含む)、学生による発表 (一人一回5分程度、1週につき4人程度)				
注意点	第2週から第12週では、授業内容に関する予習結果の報告を、交代で行う。復習課題の提出を、各受講者に求める (第1回～第15回)。予習結果報告の実施、復習課題の提出とグループワークの実施 (第13週、第14週) を、平常点としてカウントする。 自己学習の指針: 国際関係における課題に関する報道に注目し、第2週から第12週での発表、ならびにグループワークの材料とすること。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	イントロダクション	この科目の目的、到達目標と授業の進め方を理解する。	
		2週	1. 国際社会における国家 (pp. 133-135)	国際関係の主要アクターは何か、アクターどうしを規制するものは何かを理解する。	
		3週	2. 日本の主権と領土 (pp. 137-140)	日本の領域はどこか、領土をめぐる動きを理解する。	
		4週	3. 平和主義と日本の安全保障 (pp. 141-146)	国際関係の主要課題は何か、その課題に20世紀後半以降の日本がどう取り組んできたかを理解する。	
		5週	4. 国連の役割と課題 (pp. 151-157)	国連が果たす二つの役割を理解する。	
		6週	5. 戦後の国際情勢と現代の紛争 (pp. 158-163)	20世紀後半以降の国際紛争の種類と、どこで起きた (起きている) かを理解する。	
		7週	6. 核兵器と軍拡 (pp. 170-172)	核兵器の制限と廃絶に向けた動きを理解する。	
		8週	7. 世界的な人権保障の動きと国際協力 (pp. 175-176)	国連とNGOは、どのように国際関係に貢献しているかを理解する。	
	2ndQ	9週	8. 国際経済の枠組み (pp. 260-263)	国家どうしの協力がどのような側面で行われているかを理解する。	
		10週	9. 地域経済統合 (pp. 264-267)	国家の行動の中で、国境を低くしようとする側面は何かを理解する。	
		11週	10. 国際経済の変化と課題 (pp. 268-272)	20世紀後半以降の国際関係における、先進国と発展途上国の経済関係の変化を理解する。	
		12週	11. 経済格差の是正 (pp. 275-278)	発展途上国に対する先進国の支援の意義を理解する。	
		13週	グループワーク (その1)	テーマその1について調べた結果のグループでの報告と、質疑応答を行う。	
		14週	グループワーク (その2)	テーマその2について調べた結果のグループでの報告と、質疑応答を行う。	
		15週	ふりかえりとまとめ	この科目での学修内容を確認したうえで、自分は国際関係のどの側面に注目していくかを確認する。	
		16週			
評価割合					
	試験	発表及び評価	合計		
総合評価割合	50	50	100		
基礎的能力	50	50	100		

専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0